

地域とともに、未来を守る

平成13年、黒部川上流に位置する黒部峡谷に完成した宇奈月ダムは、令和3年に20周年を迎えました。

宇奈月ダムは、20周年をひとつの節目とし、

これからも、皆さまと共に、生活を守り、親しまれるダムとなるよう、努力してまいります。

宇奈月ダム竣工20周年

20th
ANNIVERSARY **UNAZUKI DAM**

各イベント・企画は黒部河川事務所HPをご覧ください。

黒部河川事務所HP▶



ダム事業の調査・計画から管理開始までの歩み

◆昭和44年8月11日 戦後最大洪水

観測史上最大の愛本地点で5,661m³/秒の流量を記録。福島堤で2カ所、南島堤で1カ所、総延長約580mに渡り破堤し、氾濫面積は約1,050ヘクタールに及びました。一般被害は家屋流出、全壊が7戸、半壊・床上浸水が436戸、床下浸水が410戸、さらに愛本堰堤操作室の水没等の甚大な被害を及ぼした洪水となりました。



- ◆昭和45年 3月 黒部川を1級河川に指定
- ◆昭和45年 4月 ダム建設における予備調査に着手

- ◆昭和49年 4月 ダム建設における実施計画調査に着手
ダムサイト地点の調査のため、横坑トンネルの掘削やボーリングコアの採取などの調査・試験を着手しました。それらの調査の結果、基礎岩盤の地質はダム建設には極めて良好、ダム右岸も同様に岩盤は堅硬でした。



- ◆昭和54年 4月 ダム建設工事に着手(下流工事用道路)
- ◆昭和56年12月 黒部峡谷鉄道付替工事に着手

- ◆昭和60年 2月 ダム用地買収完了
- ◆昭和60年10月 転流工(仮排水トンネル)に着手
従来の黒部川の流れを変更し、ダム本体工事に水が流れ込まないように右岸ダムサイトに仮排水路トンネルを施工し水を迂回させました。



- ◆昭和61年 8月 引湯管付替工事に着手

- ◆昭和62年10月 本体建設工事発注
- ◆昭和63年 5月 基礎掘削を開始
ダムを安定した地盤に建設するため、柔らかい地盤を掘削し除去します。基礎掘削は、昭和63年5月から平成5年6月の約5年を費やし施工、掘削した土砂の量は876,440m³(10tダンプ約13万5千台分)に上ります。



- ◆昭和63年10月 仮排水トンネル工事完成(転流開始)

- ◆平成5年 8月 ダム本体コンクリート打設開始
コンクリート打設は13のブロックに分け、打設を開始した平成5年7月から打設完了の平成10年9月まで約5年の年月を経て約56万m³のコンクリートを打設しました。

- ◆平成10年 9月 ダム本体コンクリート打設完了

- ◆平成11年10月 ダム貯水開始
ダム本体が完成し、いよいよダムに水を貯水していきます。ダム建設で最初に施工した転流工(仮排水トンネル)を締め切りダム本体側へ黒部川の流れを変え、転流工をコンクリートで閉塞しました。

- ◆平成12年 2月 試験湛水開始
完成したダム本体に実際に貯水して堤体、放流設備、貯水池周辺などの安全性を監視・観測するための試験的な湛水です。試験的に貯水位を最高水位まで貯めダム本体や貯水池法面、また貯水池周辺への影響や変化が無いかなどを24時間体制で監視しました。

- ◆平成13年 4月 宇奈月ダム管理開始

- ◆平成13年10月 宇奈月ダム竣工式

